

旧石器ハテナ館だより

せんとうき

尖頭器



尖頭器とは、旧石器時代に槍先に付けて使用した狩猟用石器の名称です。

相模原市立
史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館
(旧石器ハテナ館)

神奈川県相模原市中央区

田名塩田 3-23-11

Tel 042-777-6371

令和7年10月31日

【第49号】



テナちゃん ハテくん



ハテナ館 HP

実体験を重視した体験教室を行っています

新年度に入り、4月の第1週に東海大学文学部考古学専攻の新入生が来館し、体験学習を行ったのを皮切りに5月は市内の小学校が3校、6月は小学校と高等学校の生徒さんが来館しました。

6月14日に来館の町田市にある私立・和光高校は、例年この時期に体験学習を実施しています。



日本古代史研究を専門科目とした2年生の26名が、相模川の川原石での石斧づくりと、黒曜石を使用した尖頭器づくりを行いました。また、同月来館の市立谷口小学校の98名は、火起こし体験を行い普段の生活の中で、何気なく使用している火は古代ではどの様に得ていたかを学びました。

講演会

『考古学における自然科学分析』
-蛍光X線分析・圧痕レプリカ法・年代測定法-
講師:中央大学教授 小林 謙一 氏

7月19日(土)、中央大学教授の小林謙一先生をお招きして講演会を開催しました。

先生は、炭素14年代測定に関して日本の考古学分野での第一人者であり、縄文年代論・縄文文化の起源等を中心とした研究でご活躍されています。

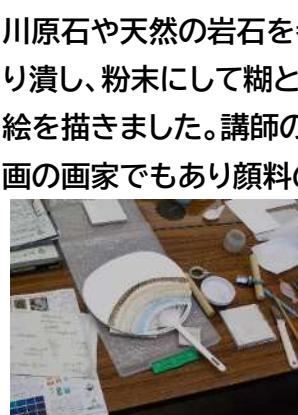
今回の講演では、可搬型の蛍光X線分析装置を用いて市内大日野原遺跡出土の土器や黒曜石の分析を行い年代測定の解説を行って頂きました。また、圧痕レプリカ法のシリコン標本を受講者が直に触れ観察をしてもらいました。参加者の年代も10代・20代の学生から80代と幅広い年代の方々が、真剣な眼差しで受講されていました。



イベント

『くだいて・つぶして・絵をかいて』
-岩絵の具(天然顔料)の世界-
講師:女子美術大学名誉教授 橋本 弘安 氏

8月2日(土)、女子美術大学名誉教授の橋本弘安先生と日本画家の黒石千恵子先生をお招きしてイベントを開催しました。相模川の川原石や天然の岩石を参加者各自が細かく砕いてすり潰し、粉末にして糊と混ぜ絵具を作り自由に団扇に絵を描きました。講師の橋本先生・黒石先生は、日本画の画家でもあり顔料の特性などにも詳しく講演をして頂きました。



参加されたご家族は、「来てよかったです、楽しかった」と話しておられ好評のうちに、イベントは終了しました。

✿『夏休み特別体験教室』を開催しました

令和7年の7月と8月の2か月間は、『夏休み特別体験教室』として『土器洗い体験』・『住居状遺構の模型づくり体験』・『紡錘車づくりと糸紡ぎ体験』の体験教室を開催しました。



土器洗い体験 7月13日と8月3日の2回、『土器洗い体験』を開催しました。市内緑区の大日野原遺跡出土の縄文土器片を、ブラシを使い丁寧に水で洗い、そして洗った土器を細部まで観察しました。参加者の方からは「本物の縄文土器に触れるのは初めてで、貴重な体験が出来ました。」との感想を頂きました。



住居状遺構模型づくり体験 7月12、27日と8月9、24日の4回、『住居状遺構の模型づくり体験』を開催しました。田名向原遺跡は、日本で唯一旧石器時代の住居状遺構として国の史跡に指定されています。体験では細かい手作業が多い中、参加者は設計図を参照に正確に住居復元模型を作り上げ、達成感のある様子でした。



紡錘車づくりと糸紡ぎ体験 古代の人々にとって糸を紡ぐ大切な道具であった紡錘車を作り、木綿糸を紡ぐ体験を、7月26日に開催しました。紡錘車の錘(おもり)をつくり芯棒へ装着しました。その後、各自が作成の紡錘車で木綿に撚りをかけ糸を紡ぎました。参加した親子からは、「とても新鮮な体験が出来て親子で楽しめました」と感想を頂きました。

🔍 令和7年度、これから体験教室とイベント情報

< 月替わり体験教室 >

【11月】**銅鏡レプリカづくり**（小学4年生以上、鋳造は保護者）体験費 1,000円

【12月】**黒曜石で尖頭器づくり**（小学4年生以上）体験費 700円

【1月】**埴輪づくり**（小学4年生以上）体験費 500円

【2月】**ガラス玉づくり**（小学4年生以上）体験費 1,000円

【3月】**編布コースターブルづくり**（小学4年生以上）体験費 200円

< イベント・講演会 >

【11月8日】**探訪「谷原古墳群を歩く」** 講師：相模原市文化財課 学芸員 齊藤真一 氏

【1月31日～3月30日】ミニ展示「遺跡の宝庫さがみはら～(仮)相模原の古墳時代～

【3月7日】**講演会「(仮)古墳時代の墓制について」** 講師：かながわ考古学財団 新山保和 氏



☆ 史跡田名向原遺跡と旧石器時代学習館(愛称：旧石器ハテナ館)とは？

史跡田名向原遺跡は、神奈川県央部を流れる相模川中流の相模原市中央区田名塩田にあります。約2万年前(後期旧石器時代)の建物跡(住居状遺構)が確認された国内唯一の遺跡です。隣接する学習館(旧石器ハテナ館)では、遺物の展示説明に加え、石器や埴輪、土器づくり等の体験教室を行っております。また、講演会やイベントなども企画・開催をして、地域の方々の生涯学習の拠点としての役割も担っております。